

新潟県の看護職の資質向上を目指して
平成 24 年度看護職学習支援部門活動報告

原 等子, 田口 玲子, 山田 正実, 飯田 智恵, 井上 智代, 須藤 陽子, 橋本 明浩*

I はじめに

看護職支援部門は看護職の総合的な資質向上を目指し、様々な学習研修機会を実施している。また近年の医療のチーム化を鑑み、看護関連職種へのスキルアップ研修および看護職の復職支援等も視野に入れて活動している。

このために公開講座、研修講座等の開催事業、およびインターネットを用いた仮想大学（バーチャルカレッジ）を開催し受講者の便を図っている。

これを以下に報告、その評価を示し。

II 方法

1. 公開講座・研修講座等

各公開講座を 8 回、総講師数 16 名、総時間数 1,830 分開催した。概要を示す。また講座終了時にアンケートを施し集計した。

1) わかりやすい倫理—日常に潜む倫理的ジレンマを解決するために—

（講師 箕岡 真子 先生）

医療・介護現場においては様々な倫理的問題が生じやすく、関係者間の意見の不一致などによる、争いに発展することまでもある。日常業務のなかに潜む倫理的問題に気づき、そのジレンマを解決する方略について講演していただきました。

2) 災害看護—今からできること—（コーディネーター 山田正実講師）

地震災害は予知が不可能である。今からできる看護職者としての「備え」について、新潟県内で大地震を体験された病院や介護施設の関係者 3 名を講師にお招きして、シンポジウム形式での講演会を開催した。講師のお話から、災害への危機意識の持続、自分の所属する施設の災害時の役割の認識、災害を乗り越えるための日頃の準備（設備、物資、組織、マニュアルなど）の重要性を確認することができた。多くの参加者から、今後の活動に生かせる内容であったと評価をいただいた。

3) 看護情報処理セミナー（講師 橋本明浩 教授、永吉 雅人 助教）

日常生活の中で利用する看護情報をより効果的に処理することを目的として、習熟の程度に応じて学習できるようなプログラム。

4) 高度実践看護師の養成教育と活動の展望（講師 小泉美佐子 教授 他）

複雑・高度化する医療・保健・福祉ニーズに対応できる高度な実践能力をもつ専門看護師（Certified Nurse Specialist : CNS）を養成する教育プログラム（CNS コース）の紹介とその意義、実際の活動などについての講演後、今後の高度実践看護師育成のあり方を討論するシンポジウムを開催。

5) 院内研究発表入門 （講師 橋本明浩 教授）

* 同部門長。なお、内宮律代講師は 8 月 31 日まで本部門で活動した。

院内での研究発表・業務報告などは、職員交流にも役立つが、看護の質を向上させる大きな原動力になる。院内研究発表に必要な情報処理技術について実技講習した。

6) 院内マニュアル作成入門 (講師 橋本明浩 教授)

使いやすくわかりやすい院内マニュアル作成を目指す。50 ページ以上文書を作成する方法は1枚の文書を作る方法と違う。そこで、テンプレートに従い構造的な文章作成術を用いて、索引、目次、図表番号等を自動的に作成する実技講習を行った。

7) フィジカルアセスメントスキルアップコース (講師 大下 静香 先生)

フィジカルアセスメントの基本技術には問診・視診・触診・打診・聴診がある。特に重要な問診であるが、これを効果的に行うにはコミュニケーション能力が必要。コミュニケーション能力を高めるための効果的な方法(コツ・ツボ)について分かりやすくお話ししていただいた。またグループワークも行い学習の収着をはかった。

8) フィジカルアセスメントスキルアップコース (講師 飯田智恵 講師)

呼吸の基礎知識とアセスメントのポイントを再確認し、聴診モデルを用いた聴診トレーニングを行うことにより正常呼吸音と異常呼吸音の違いを理解することを目標とした。日ごろ呼吸観察で疑問に思っていることや取り組みなどを共有する機会にすることも試みた。

2 バーチャルカレッジ

1) コンテンツの拡充

新規に以下の公開講座のコンテンツを作成した。

- (1) わかりやすい倫理 日常に潜む倫理的ジレンマを解決するために
- (2) 災害看護 今からできること
- (3) 看護情報処理セミナー
- (4) 高度実践看護師の養成教育と活動の展望
- (5) 院内研究発表入門
- (6) 院内マニュアル作成入門
- (7) フィジカルアセスメントスキルアップコース (問診編)
- (8) フィジカルアセスメントスキルアップコース (呼吸音編)
- (9) 看護師・保健師のクエスチョンバンク

2) コンテンツの整備

旧来のコンテンツでは膨大なネットワーク資源、メモリー資源を必要とした。そこで携帯電話、ADSL等資源の少ない情報機器でも利用可能なように一部、書き換えをおこなった。

3 広報活動

新潟県ホームページおよび上越タイムズ「くびきの創信」に公開講座等の周知のために広報を行った(担当 事務局)。大学と受講者、メイト(登録者)をつなぐドコカレ通信を4回発行した(資料2-5参照, 担当井上, 須藤)。加えて近隣病院等にリーフレットの配布・郵送等も行った。(事務局, 教員)

III 結果

1) 公開講座等

公開講座のアンケート結果及び次回希望講座等を分野毎に示す。(表2 アンケート自由記載
表3 受講者にみる希望講座とその分野を参照)。

2) バーチャルカレッジ

700万件に及ぶアクセスがあり、利用期間・時間帯等観察したが、学内ネットワーク資源に影響を及ぼさず円滑に実施できていることが確認された。(資料1 バーチャルカレッジ稼働集計参照)

3) メイト登録者数

平成24年12月28日現在127名のメイト登録者があり、月平均10万回程度のアクセスがあり、年間1,642,307件にのぼる。このアクセス数は全アクセス数の42%をしめている。(資料1 バーチャルカレッジの報告参照)

IV 考察・結論

1. アンケート集計から

アンケート調査結果より、以下の公開講座を次年度の公開講座案とした。

- 看護職のジレンマに関する公開講座
- 看護職の専門性をより高めるような公開講座
2007年4月1日に「がん対策基本法」が施行され、本県でも死亡要因の1位となっている「がん(悪性新生物)」の緩和ケアに関する専門公開講座
- 看護職の日常の質的向上をはかる公開講座
呼吸音等を含めたアセスメント技術とその記載に関する専門公開講座
- 看護研究を進めるための支援の公開講座
看護研究に必要な統計処理、情報技術に関する専門公開講座

2. その他の問題点

看護師の質の向上は、看護大学として最も重要な使命である。しかし、平成19年の文部科学省の予算措置以降、県の独自事業の一環として行われているため、予算人員等の諸般の問題もあり、今後の事業展開を如何に行っていくのか十分に検討する必要があるとも思われる。

表1 開催講座概要

日時	題名	講師	参加者数	時間数
6月9日(土) 16:00~17:30	わかりやすい倫理 日常に潜む倫理的ジレンマを解決するために	講師 箕岡 真子。 (箕岡医院内科医師/東京大学大学院医療倫理学分野客員研究員)	57人	90分
7月7日(土) 13:30~15:30	災害看護 今からできること	コーディネーター 講師 山田 正実*	48人	120分

		シンポジスト(3) 佐藤和美 (元小千谷総合病院看護部長) 岡田美香 (柏崎総合医療センター救急看護認定看護師) 長谷川 誠一(社会福祉法人十日町福祉会常務理事)		
9月11日(火) 10:00~16:00 9月12日(水) 10:00~15:00	看護情報処理セミナー	講師 橋本明浩* 永吉雅人*	5人	540分
9月15日(火) 13:00~16:00	高度実践看護師の養成教育と活動の展望	講師 小泉美佐子* およびシンポジスト(4) 近藤 壽美子(新潟県立がんセンター新潟病院看護部長) 星野めぐみ(新潟労災病院がん看護 CNS) 齋田綾子 (公立七日市病院老人看護 CNS) 室岡真樹 (新潟県立看護大学大学院生 地域看護CNSコース)	43人	180分
9月18日(火) 10:00~16:00	院内研究発表入門	講師 橋本明浩*	5人	300分
9月19日 10:00~16:00	院内マニュアル作成入門	講師 橋本明浩*	8人	300分
10月13日 13:00~15:00	フィジカルアセスメントスキルアップコース (問診編)	講師 大下静香	35人	120分
10月27日 13:00~16:00	フィジカルアセスメントスキルアップコース	講師 飯田智恵	24人	180分
計	8講座	計16名	225人	1,830分

敬称略

表 2 アンケート自由記載

講座名	アンケート用紙に書かれていた内容
わかりやすい倫理	スキンケア、褥瘡予防について
	コミュニケーションのスキルアップについて
	死後処置について。最近変わりつつあります。しかし地域がらみもあり、取り組みを変えていくのも大変です。 近隣の処置のやり方も含めながら、今の現状の講演をしてほしい。
	今後、ますます増えるであろう一人暮らしの老人に対する社会の受け入れ（医療、賃貸住宅、食事、自立支援）について、課題や取り組み等のお話をお伺いできればと思います
	倫理の具体的なディスカッションをしたい
	昨年の9月からこの講座を受け、勉強させていただいております。フィジカルアセスメント等、ずいぶん深い知識を得るものもあり感動しています。しかし、実技面の実習がもう少し取り入れていただくと現場復帰や求められている介護施設で一役できるかと思えます。この点についてご検討いただけると幸いです。
	種々に於いて、一步ふみこんだ考え方をできる講座をお願いいたします。
災害看護	福祉施設における介護職・看護職との連携を含めた話も聞きたいなと思えます
	老年介護、病院から在宅へ戻るための取り組みなどを、上越市の介護保険状況も含め、学びたい。
	心身障害者や難病患者の対応・看護
	救急医療に関するテーマ
	身体障害児の看護
	地域の防災士の方のご意見に関連して、地域の方と病院・施設の間で、どのように協力関係を作っていくのか、という点は、私も日頃から考えていたことでしたので、もう少し意見交換できたらと思いました。施設内では利用者の避難・保護には施設職員だけでは全く不十分で、地域との協力が不可欠と考えています。
	救急看護、トリアージについて
	専門ナースの現状分析が面白いように思います。ナースの視点での分析的なお話を聞きたい。
現在クローズアップされていること、看護に関するものならどのようなものでも可	
認知症看護・介護	
高度実践看護師の養成教育と活動の展望	精神科領域のもの。倫理について
	認知症
	病院と在宅の連携について（訪問看護）
	褥瘡ケアについて。感染症対策看護について
	CNSの6つの役割の1つずつの事例を是非聞いてみたい。高度な実際とは何か、その具体を知りたい。（老年看護の「倫理」についての現場スタッフの中での展開についてなど）
	在宅看護シリーズ。老人看護。在宅看取り
	最新の医療及び看護について
	トピックスを中心に！！

セミナー 看護情報 処理	e-ラーニング研修(専門分野)(WOC、認知症等)
	褥瘡ケアについて
	拘縮予防、ポジショニング
院内 研究 発表 入門	研究についてももう少し行っていただきたい。(2日間くらい)
院内 マニュアル 作成 入門	平日は、休みがとりにくいので、土日の講座があるとありがたいです。
	医療安全の統計管理
	看護研究に使える統計学入門的な講座をお願いしたい。
	看護情報の充実、年に2~3回開講してほしい。参加者が増えると思います。
	エクセルによる統計や看護発表のスライドショーなど教えてほしいです。
	特にありませんが、今回の研修を毎年続けてほしいです。他のスタッフもうけさせたいです
	今後仕事に役立てるようにします。
ホームページより引用して院内用の文書を作成するための倫理規定などについて聞きたい。	

表 3 受講者にみる希望講座とその分野

アンケート対象講座	年代	希望項目	詳細	具体的意見
6月13日わかりやすい倫理	40代	終末期	死後処理	・死後処理について。最近変わりつつあります。しかし地域がらみもあり、取り組みを変えていくのも大変です。近隣の処置のやり方も含めながら、今の現状を講演してほしい。(看護職・女性)
9月15日高度実践看護師	50代	終末期	家での看取り	・在宅看護シリーズ。老人看護。在宅看取り(看護職・女性)
10月13日フィジカルアセスメント	60代	終末期	グリーフケア	・グリーフケアについて(看護職・女性)
10月13日フィジカルアセスメント	不明	終末期	終末期ケア	・胃ろう造設者のターミナルについて。いつまで栄養を入れるのか？DrやFaへのかかり方(やめる時期の見きわめ)(看護職・女性)
9月15日高度実践看護師	30代	在宅	訪問看護	・病院と在宅の連携について(訪問看護)(看護職・女性)
7月7日災害看護	30代	在宅	在宅連携	・老年介護、病院から在宅へ戻るための取り組みなどを、上越市の介護保険状況も含め、学びたい。(介護福祉職・女性)
9月15日高度実践看護師	30代	在宅	在宅連携	・病院と在宅の連携について(訪問看護)(看護職・女性)
6月13日わかりやすい倫理	40代	在宅	独居在宅支援	・今後、ますます増えるであろう一人暮らしの老人に対する社会の受け入れ(医療、賃貸住宅、食事、自立支援)について、課題や取組等のお話をお伺いできればと思います。(会社員・男性)
10月13日フィジカルアセスメント	40代	在宅	在宅酸素療法	・在宅酸素療法時の注意点。理学療法士の話(リハビリ関係)。糖尿病の内服とインスリン注射褥瘡ケアについて。(看護職・女性)
9月15日高度実践看護師	50代	在宅	在宅看護	・在宅看護シリーズ。老人看護。在宅看取り(看護職・女性)
7月7日災害看護	50代	災害	災害看護	・救急看護、トリアージについて(看護職・女性)
10月13日フィジカルアセスメント	50代	災害	災害看護	・感染予防。院内トリアージ。災害看護。(看護職・女性)
6月13日わかりやすい倫理	40代	コミュニケーション	コミュニケーション	・コミュニケーションのスキルアップについて(看護職・女性)
9月18日院内看護研究発表入門	不明	研究	看護研究	・研究についてもう少し行っていただきたい。(2日間くらい)
7月7日災害看護	40代	救急	救急医療	・救急医療に関するテーマ(会社員・男性)

7月7日災害看護	50代	救急	救急医療	・救急看護、トリアージについて(看護職・女性)
6月13日わかりやすい倫理	60代	技術	看護技術	・昨年の9月からこの講座を受け、勉強させていただいております。フィジカルアセスメント等、ずいぶん深い知識を得るものもあり感動しています。しかし、実技面の実習がもう少し取り入れていただけると現場復帰や求められている介護施設で一役できるかと思えます。この点についてご検討いただけると幸いです。(養護教諭・女性)
9月15日高度実践看護師	40代	感染症	感染症	・褥瘡ケアについて。感染症対策看護について(看護職・女性)
10月13日フィジカルアセスメント	50代	感染症	感染症	・感染予防。院内トリアージ。災害看護。(看護職・女性)
10月13日フィジカルアセスメント	20代	胃瘻	PEG	・PEG管理について(看護職・女性)
10月13日フィジカルアセスメント	不明	胃瘻	PEG	・胃ろう造設者のターミナルについて。いつまで栄養を入れるのか? DrやFaへのかかり方(やめる時期の見きわめ)(看護職・女性)
6月13日わかりやすい倫理	40代	WOC	スキンケア	・スキンケア、褥瘡予防について(看護職・女性)
9月15日高度実践看護師	40代	WOC	褥瘡	・褥瘡ケアについて。感染症対策看護について(看護職・女性)
10月13日フィジカルアセスメント	40代	WOC	褥瘡	・在宅酸素療法時の注意点。理学療法士の話(リハビリ関係)。糖尿病の内服とインスリン注射褥瘡ケアについて。(看護職・女性)
6月13日わかりやすい倫理	40代	WOC	褥瘡	・スキンケア、褥瘡予防について(看護職・女性)
9月11日看護情報処理	不明	WOC	褥瘡	・褥瘡ケアについて
7月7日災害看護	60代			・現在クローズアップされていること、看護に関することならどのようなものでも可(無職・女性)
9月15日高度実践看護師	60代			・最新の医療及び看護について(主婦(定年まで看護職)・女性)
6月13日わかりやすい倫理	不明			・種々に於いて、一歩ふみこんだ考え方をできる講座をお願いいたします。(介護相談員・女性)
9月19日院内マニュアル作成	不明			・平日は、休みがとりにくいので、土日の講座があるとありがたいです。
9月19日院内マニュアル作成	不明			・今後仕事に役立てるようにします。

9月15日高度実践看護師	不明			・トピックスを中心に！！(無職・女性)
9月15日高度実践看護師	30代	老年	認知症ケア	・認知症(看護職・男性)
7月7日災害看護	30代	老年	高齢者介護	・老年介護、病院から在宅へ戻るための取り組みなどを、上越市の介護保険状況も含め、学びたい。(介護福祉職・女性)
9月15日高度実践看護師	40代	老年	老年看護	・CNSの6つの役割の1つずつの事例を是非聞いてみたい。高度な実際とは何か、その具体を知りたい。(老年看護の「倫理」についての現場スタッフの中での展開についてなど)(看護職・女性)
9月15日高度実践看護師	50代	老年	老年看護	・在宅看護シリーズ。老人看護。在田看取り。(看護職・女性)
10月13日フィジカルアセスメント	60代	老年	老年看護	・老人看護について(看護職・女性)
7月7日災害看護	60代	老年	認知症ケア	・認知症看護・介護(看護職・女性)
9月15日高度実践看護師	30代	倫理	看護倫理	・精神科領域のもの。倫理について(看護職・男性)
9月15日高度実践看護師	40代	倫理	看護倫理	・CNSの6つの役割の1つずつの事例を是非聞いてみたい。高度な実際とは何か、その具体を知りたい。(老年看護の「倫理」についての現場スタッフの中での展開についてなど)(看護職・女性)
6月13日わかりやすい倫理	50代	倫理	看護倫理	・倫理の具体的なディスカッションをしたい(看護職・女性)
9月19日院内マニュアル作成	不明	倫理	文書作成の倫理	・ホームページより引用して院内用の文章を作成するための倫理規定などについて聞きたい。
10月13日フィジカルアセスメント	40代	リハビリテーション	理学療法	・在宅酸素療法時の注意点。理学療法士の話(リハビリ関係)。糖尿病の内服とインスリン注射褥瘡ケアについて。(看護職・女性)
9月11日看護情報処理	不明	リハビリテーション	拘縮予防	・拘縮予防、ポジショニング
7月7日災害看護	30代	福祉	他職種連携	・福祉施設における介護職・看護職との連携を含めた話も聞きたいなと思います(介護福祉職・女性)
7月7日災害看護	30代	福祉	介護保険	・老年介護、病院から在宅へ戻るための取り組みなどを、上越市の介護保険状況も含め、学びたい。(介護福祉職・女性)
6月13日わかりやすい倫理	40代	福祉	高専賃、福祉	・今後、ますます増えるであろう一人暮らしの老人に対する社会の受け入れ(医療、賃貸住宅、食事、自立支援)について、課題や取り組み等のお話をお伺いできればと思います(会社員・男性)

7月7日災害看護	50代	福祉	地域連携・住民組織	・地域の防災士の方のご意見に関連して、地域の方と病院・施設の間で、どのように協力関係を作っていくのか、という点は、私も日頃から考えていたことでしたので、もう少し意見交換できたらと思いました。施設内では利用者の非難・保護には施設職員だけでは全く不十分で、地域との協力が不可欠と考えています。(看護職・女性)
10月13日フィジカルアセスメント	20代	フィジカルアセスメント	検査値	・検査データの見方(看護職・女性)
7月7日災害看護	40代	難病	難病支援	・心身障害者や難病患者の対応・看護(看護職・女性)
9月19日院内マニュアル作成	不明	統計	看護研究の統計学	・看護研究に使える統計学入門的な講座をお願いしたい。
9月19日院内マニュアル作成	不明	統計	医療安全の統計処	・医療安全の統計管理
9月11日看護情報処理	不明	その他	eラーニング教材希望(WOC、認知症)	・eラーニング研修(専門分野)(WOC、認知症等)
9月15日高度実践看護師	40代	専門	CNS	・CNSの6つの役割の1つずつの事例を是非聞いてみたい。高度な実際とは何か、その具体を知りたい。(老年看護の「倫理」についての現場スタッフの中での展開についてなど)(看護職・女性)
7月7日災害看護	50代	専門		・専門ナースの現状分析が面白いように思います。ナースの視点での分析的なお話を聞きたい。(その他・女性)
10月13日フィジカルアセスメント	40代	成人	糖尿病	・在宅酸素療法時の注意点。理学療法士の話(リハビリ関係)。糖尿病の内服とインスリン注射褥瘡ケアについて。(看護職・女性)
9月15日高度実践看護師	30代	精神	精神看護	・精神科領域のもの。倫理について(看護職・男性)
9月19日院内マニュアル作成	不明	情報	看護情報処理	・看護情報の充実、年に2~3回開講してほしい。参加者が増えると思います。
9月19日院内マニュアル作成	不明	情報	看護研究発表のスライド作成法	・エクセルによる統計や看護発表のスライドショーなど教えてください。
9月19日院内マニュアル作成	不明	情報	エクセルの使い方	・エクセルによる統計や看護発表のスライドショーなど教えてください。
9月19日院内マニュアル作成	不明	情報	院内マニュアル作成	・特にありませんが、今回の研修を毎年続けてほしいです。他のスタッフもうけさせたいです。
7月7日災害看護	40代	障害	障害者支援	・心身障害者や難病患者の対応・看護(看護職・女性)
7月7日災害看護	40代	障害	障害者支援	・身体障害時の看護(看護職・女性)

資料1ー バーチャルカレッジの報告

表 4 総アクセス回数*

年月	総数アクセス 件数	学外アクセス 件数	学内アクセス 件数	学外割合
2012年 1月	193,236	130,922	62,314	67.8%
2012年 2月	209,490	161,208	48,282	77.0%
2012年 3月	158,948	122,675	36,273	77.2%
2012年 4月	290,252	134,914	155,338	46.5%
2012年 5月	292,838	120,488	172,350	41.1%
2012年 6月	580,690	141,235	439,455	24.3%
2012年 7月	434,723	116,013	318,710	26.7%
2012年 8月	135,943	114,947	20,996	84.6%
2012年 9月	375,930	116,835	259,095	31.1%
2012年 10月	392,919	163,156	229,763	41.5%
2012年 11月	452,419	144,676	307,743	32.0%
2012年 12月	293,675	141,366	152,309	48.1%
2013年 1月	95,176	33,872	61,304	35.6%
総数	3,906,239	1,642,307	2,263,932	42.0%

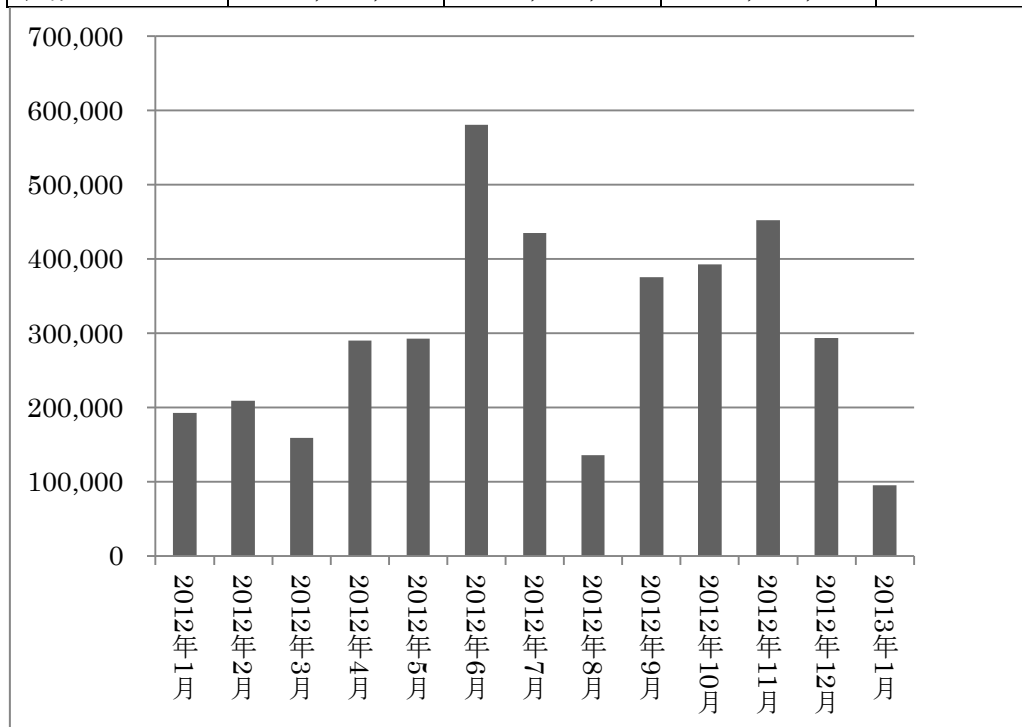


図 1 月別総アクセス件数の推移

* 2013年1月のアクセス数は10日分である。

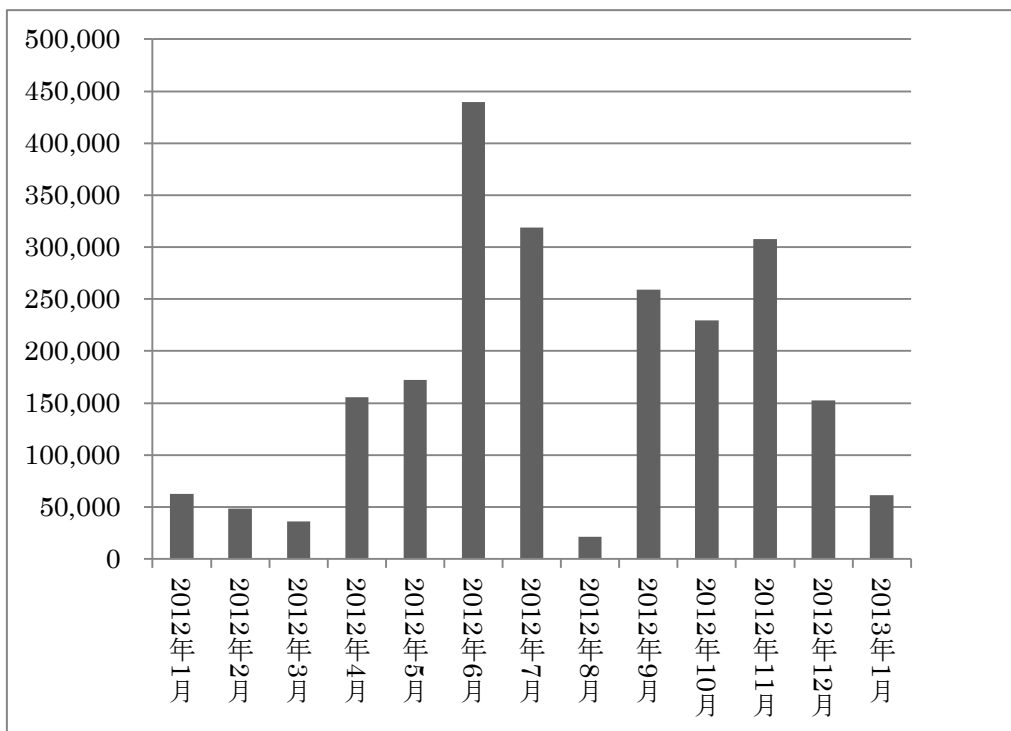


図 2 月別学内総アクセス件数

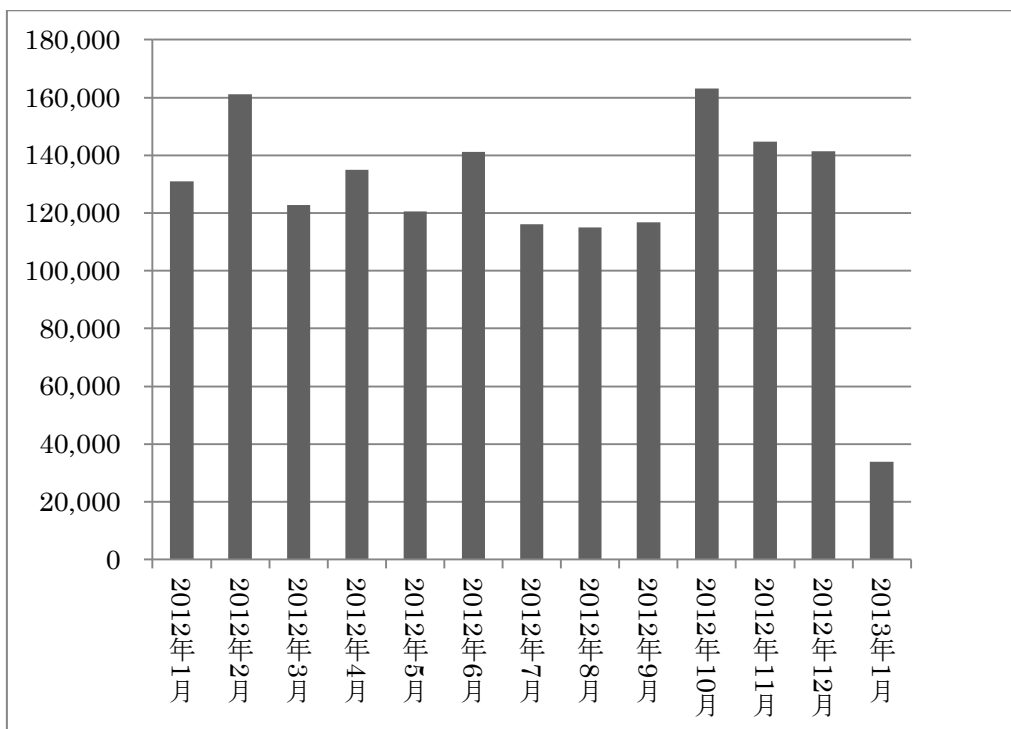


図 3 月別学外アクセス件数

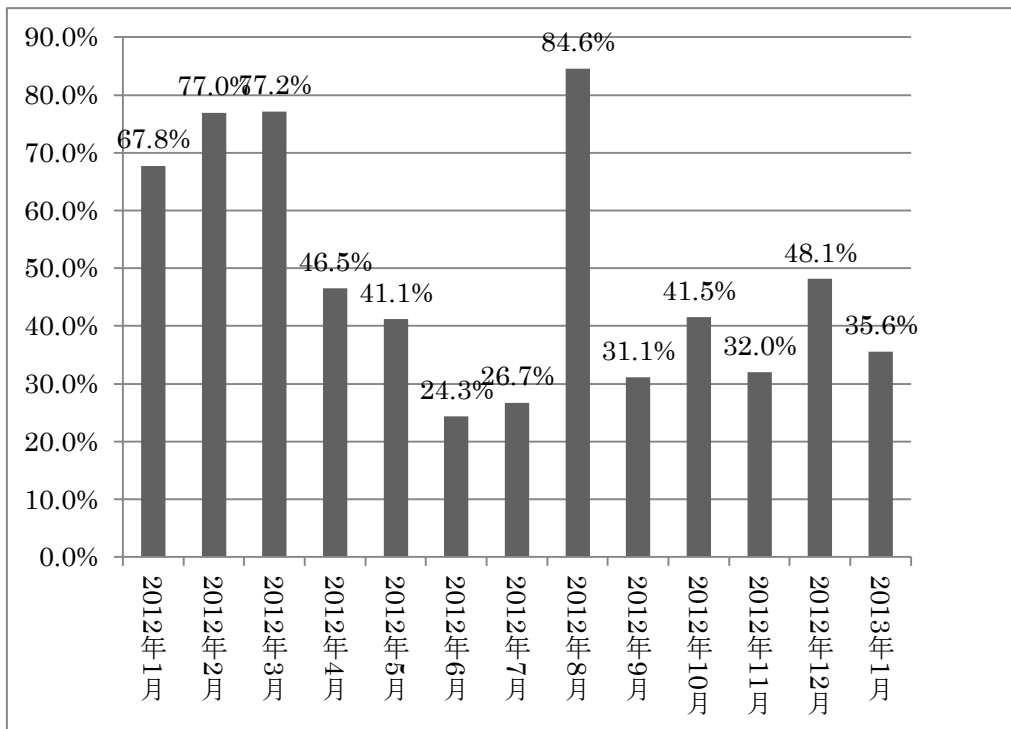


図 4 月別学内・学外割合

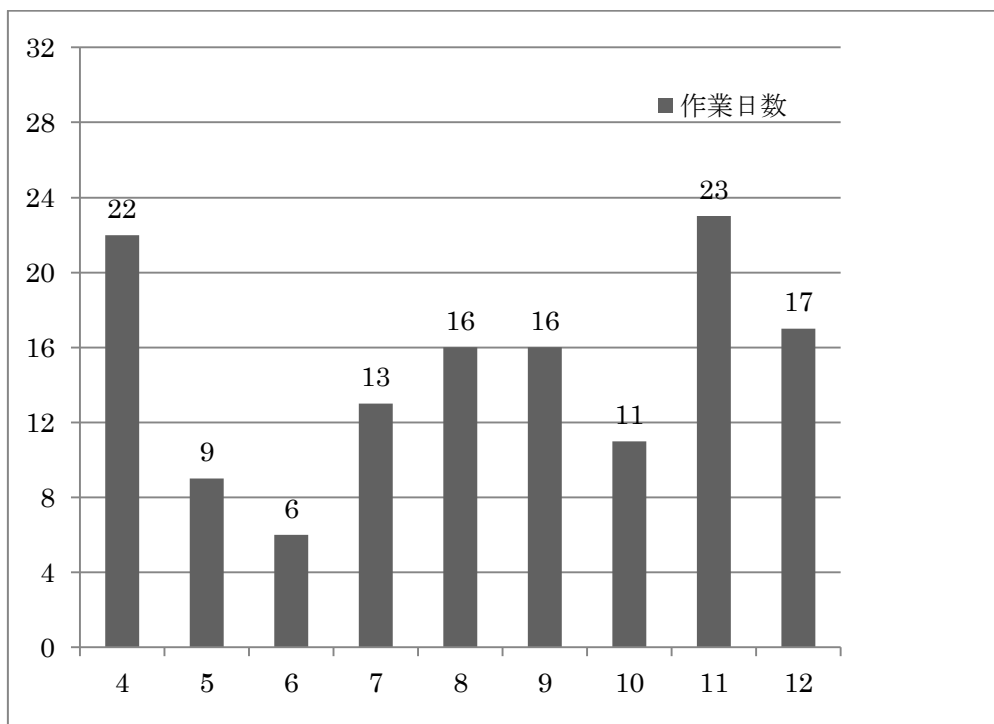


図 5 月別作業日数

X 軸は月を表し、Y 軸は日数を示す。

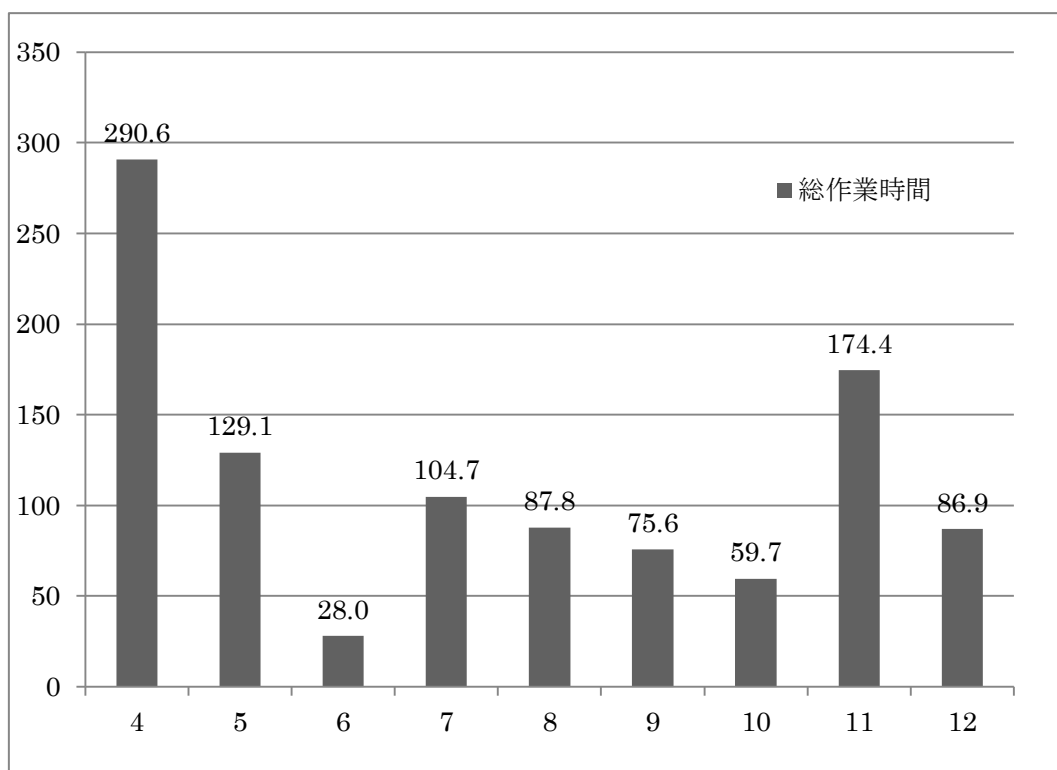


図 6 月別総作業時間†(単位は時間)

† 土日, 17時以降の作業時間も含む.

第13号 2012.7.30
ドコカレ通信

新潟県立看護大学看護研究交流センター
「どこでもカレッジプロジェクト」では
看護師の学び直しを支援します。

今年も「節電の夏」となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？


無理な節電はかえって体調を崩すこととなりますので、気温や湿度の高い日には適度に空調機器を使用し、こまめに水分補給するなど、熱中症には十分注意してください。

今後の公開講座のお知らせ

<p>☆ドコカレ公開講座</p> <p>① 9月11日(火) 10:00~16:10 9月12日(水) 10:00~15:30 「看護情報処理セミナー」 新潟県立看護大学 教授 橋本明浩 助教 永吉雅人</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>日常生活の中で利用する看護情報をより効果的に処理することを目的に、習熟の程度に応じて学習できるようにプログラムしました。 ※定員 11名</p> </div> <p>② 9月15日(土) 13:00~16:00 「高度実践看護師の養成教育と活動の展望」 新潟県立看護大学大学院 教授 小泉美佐子</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>看護をとりまく最近の動向をふまえて本学の取り組みを紹介し、高度実践看護師育成のあり方を討議するシンポジウムを企画しました。</p> </div> <p>③ 9月18日(火) 10:00~16:00 「院内研究発表入門」 新潟県立看護大学 教授 橋本明浩</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>院内研究発表に必要な情報処理技術について学習できるようにするためのプログラムとなっております。 ※定員 11名</p> </div>	<p>④ 9月19日(水) 10:00~16:00 「院内マニュアル作成入門」 新潟県立看護大学 教授 橋本明浩</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>パソコンを用いて「使いやすいわかりやすい院内マニュアル」の作成を目指します。 ※定員 11名</p> </div> <p>⑤ 10月13日(土) 13:00~15:00 「フィジカルアセスメントスキルアップコース」 日本保健医療大学 看護学科長 大下静香</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>コミュニケーション能力を高める効果的方法について、『仲間とみかく 看護のコミュニケーション・センス』の著者である大下静香先生にわかりやすくお話していただきます。</p> </div> <p>⑥ 10月27日(土) 13:00~16:00 「フィジカルアセスメントスキルアップコース」 新潟県立看護大学 講師 飯田智恵</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>呼吸の基礎知識とアセスメントのポイントを再確認し、聴診モデルを用いたトレーニングを行います。呼吸観察についての情報交換の場になりたいと思います。 ※定員 20名</p> </div> <p>☆尚、①の講座は、全日程参加可能な方が優先されます。</p>
---	---

近況報告

6月9日(土)「わかりやすい倫理—日常に潜むジレンマを解決するために—」
(講師：真岡医院内科医師 真岡真子先生)の公開講座に57名のご参加がありました。ありがとうございました。参加された方からは、倫理的ジレンマの気づきや意識していくことの大切さなど再認識することができたなどの感想が多数寄せられました。



連絡先：新潟県立看護大学 看護研究交流センター（事務員：吉田・水澤 / 受付時間：平日9:30~16:00）
〒943-0147 上越市新岡町240 電話：025-526-2822（直通・FAX兼）
Eメール：dokokare@nigata-cu.ac.jp ホームページ：http://dokokare.nin.jp/

第14号 2012/9/30
どこカレ通信



今年の夏は、連日の猛暑日で熱中症指数「厳重警戒レベル」が続きましたが、皆様お元気で過ごされましたでしょうか。夜になると心地よい夜風が吹くようになり、少しずつ秋の気配を感じられる季節になってきました。「秋の夜長の虫の音」に耳を澄ましてみるのもいいかもしれませんね。

近況報告

7月7日(土)「災害看護 今からできること」をテーマに、新潟県内の災害支援活動実践者の3名(元小千谷総合病院看護部長 佐藤和美氏、柏崎総合医療センター病院救急看護認定看護師 岡田美香氏、十日町福祉ケアセンター三好園しんざ常務理事 長谷川誠一氏)をシンポジストとして呼びし、公開講座が行われました。当日は大雨で交通機関が大混乱でしたが、足元の悪い中48名もの方々のご参加がありました。また、今回は看護職のみならず保健医療福祉関係に従事されている方々、自治会代表者の方など多方面の方々からご参加いただきました。参加された方々からは、「施設のマニュアルの整備に役立てたい」「訓練時に役立てたい」「日頃の訓練や備えは大切」などの感想が多数寄せられ関心の高さが感じられました。



今後の公開講座

- ☆ どこカレ公開講座
 今年の公開講座もあと2回となりました。
 ご参加心よりお待ちしております。
- ① 10月13日(土)
 「フィジカルアセスメントスキルアップコース」
 日本保健医療大学 看護学科長 大下静香先生
 ＊問診におけるコミュニケーション能力を高める方法を学びます。
- ② 10月27日(土)
 「フィジカルアセスメントスキルアップコース」
 新潟県立看護大学 講師 飯田智恵
 ＊呼吸の基礎知識とアセスメントのポイントを確認し、呼吸音の正常と異常を理解していきます。
 ※10月27日の講座は定員に達しました。

おしらせ

- ★ 看護大いきいきサロン 公開講座のお知らせ
 ※申し込みは不要です。皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。
 10月17日(水) 18:00~19:00
 「身近な感染症 ー保健所の感染管理活動ー」
 上越保健所長 西脇京子先生
 11月7日(水) 18:00~19:00
 「身近な薬と健康食品・サプリメント」
 あすなる調剤薬局 薬剤師 川端茂夫先生
- ★ 第2回市民公開講座のお知らせ
 ※入場無料ですが、講座1週間前までにお申込下さい。
 11月29日(木) 18:00~19:30
 「のちと向き合う看護〜スピリチュアルケアの視点から〜」
 淀川キリスト教病院 がん診療センター主任看護課長 田村恵子 先生
 ＊2008 NHK プロフェッショナル仕事の流儀
 「希望は、必ず見つかる」出演 がん看護専門看護師

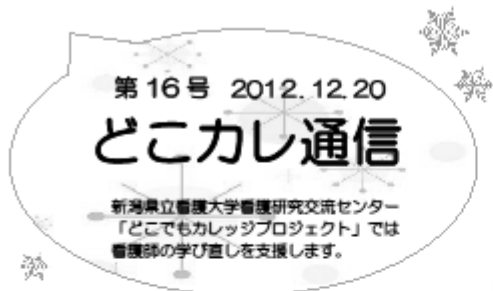
連絡先：新潟県立看護大学 看護研究交流センター（事務員：吉田・水澤）
 Tel & Fax：025-526-2822（平日 9:30~16:00）
 E-mail：dokokare@nigata-cn.ac.jp ホームページ：http://dokokarenirin.jp/



日増しに秋が深まり、草木の色の変化を感じる季節となりました。朝晩と寒さがつり、吹く風にも物寂しさが感じられますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。
9月に開催された公開講座と、今後開催される公開講座、大学院の二次募集などをまとめましたので、どうぞご覧ください。

近況報告	第2回市民公開講座のおしらせ
<p>9月に入り、どこカレ公開講座が4回開催されました。多数のご参加ありがとうございました。</p> <p>★ 9月11日(火)、12日(水)「看護情報処理セミナー」</p> <p>「実技を交えて教えて頂けてわかり易かった」 「様々なマニュアル作成に必要な知識を学ぶことが出来て大変良かった」などの感想が寄せられました。</p>  <p>★ 9月15日(土)「高度実践看護師の養成教育と活動の展望」</p> <p>本学大学院の小泉美佐子教授による基調講演が行われた後、近藤壽美子氏(新潟県立がんセンター新潟病院看護部長)、星野めぐみ氏(新潟労災病院がん看護 CNS)、齋田綾子氏(公立七日市病院老人看護 CNS)をお迎えし、本学大学院地域看護 CNS コースで学ぶ院生の室岡真樹さんをお迎えし、シンポジウムが行われました。</p> <p>当日は、43名もの方々からご参加いただきました。 「シンポジウムでの各CNSの講演、ディスカッションがよかった」 「活動の現状や困難、工夫などよくわかりました」などの感想が多数寄せられました。</p>  <p>★ 9月18日(火)「院内研究発表入門」</p> <p>「実際に操作しながらなのでわかり易かった」「楽しかった」などの感想が寄せられました。</p> <p>★ 9月19日(水)「院内マニュアル入門」</p> <p>「パソコンの基礎から入っていただき、また、少人数でわからない時、すぐ対応してもらいよかった」「マニュアル作りの基本、土台、スタートが教えてもらってよかった」などの感想をいただきました。</p>	<p>11月29日(木) 18:00~19:30 いのちと向き合う看護 ～スピリチュアルケアの視点から～ 講師 淀川キリスト教病院がん診療センター 主任看護課長 田村恵子氏 先生の仕事ぶりはNHK「プロフェッショナル・仕事の流儀」で紹介されました。 今回は「心の痛みを癒す」ケアについてご講演いただきます。</p> <p>平成25年度 大学院生募集【二次募集】</p> <p>平成25年度入学の大学院生の二次募集を次のとおり行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 募集学科 看護学研究科 看護学専攻(修士課程) 募集人員 若干名 出願期間 平成25年1月4日(金)～16日(水) ※ 出願前に、入学後の研究について本学教員との面談が必要です。面談の受付は11月2日(金)から行います。 面談期間は、平成24年11月7日(水)～12月10日(月)です。 試験日 平成25年2月1日(金) 試験会場 新潟県立看護大学 <p><お知らせ> 11月18日(日)23日(金)24日(土)25日(日)は大学のネットワーク停止に伴いどこカレホームページの閲覧ができません。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。</p>

連絡先:新潟県立看護大学 看護研究交流センター(事務員:吉田・水澤 / 受付時間:平日 9:30~16:00)
〒943-0147 上越市新南町 240 電話:025-526-2822(直通・FAX 兼)
Eメール:dokokare@nigata-cn.ac.jp ホームページ:http://dokokare.nirin.jp/



ことしも、また雪の季節がやってきました♪
 空気が乾燥しがちなこの季節、ウイルスによる
 感染症が流行しがちです。

外から帰ったら必ず手洗い・うがい、室内の
 適度な加湿に心がけるなど、予防をしっかりと行
 って、感染を防ぎましょう。

近況報告

今年度のどこカレ公開講座は、無事終了いたしました。多数のご参加ありがとうございました。皆様
 の貴重なご意見のもと、来年度もより充実した公開講座を計画していきたいと思っておりますので、これから
 も宜しくお願い致します。

★10月13日(土)
 「フィジカルアセスメント
 スキルアップコース」
 ～問診編～

講師：日本保健医療大学
 看護学科長 大下静香

問診を行う上でのコミュニケーションについて、
 講義とグループワークを含む内容で行われ、35名
 のご参加がありました。

『普段何気なくとっているコミュニケーションに
 様々な意味や効果がある事を多く学ぶことができた』
 『基本に立ち戻ることができた』『普段の自分を見
 直す機会になった』などのご感想が寄せられました。

また、グループワークにおいては他施設間との意
 見交換も活発にされている様子が印象的でした。



★10月27日(土)
 「フィジカルアセスメント
 スキルアップコース」
 ～呼吸の基礎知識とアセスメント～

講師：新潟県立看護大学
 講師 飯田智恵

呼吸の基礎知識とアセスメントのポイントにつ
 いて、講義とモデル人形を使用した演習の組み合
 わせで講座が行われ、24名のご参加がありました。

『実際にモデル人形を使って聴取できて、とてもわ
 かりやすかった』『自信がなかったので、病態が整理
 できてよかった』などのご感想が寄せられました。

特に、演習時は参加者の皆さんが聴診器を片手
 に積極的に学習されていました。



お知らせ

<メイト登録について>

登録時の住所・連絡先に変更があった場合は、下記へご連絡下さい。郵送物が届かなくなった時点で、
 継続の意思なしと判断し、メイト登録を解除とさせていただきます。

連絡先：新潟県立看護大学 看護研究交流センター（事務員：水澤・吉田 / 受付時間：平日 9：30～16：00）
 〒943-0147 上越市新南町 240 電話：025-526-2822（直通・FAX 兼）
 Eメール：nirin@nigata-cn.ac.jp ホームページ：http://dokokare.nirin.jp/